

9 . 河川管理

河川の維持管理に関しては、災害の発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持および河川環境の整備と保全の観点から、河川の有する多面的機能を十分に発揮させるよう適切に行うものとする。

9 - 1 管理区間

国が管理しているのは、本川肱川 20.22km、右支川矢落川 4.20km、その上流のダム管理区間 17.59km の、総延長 42.01km である。

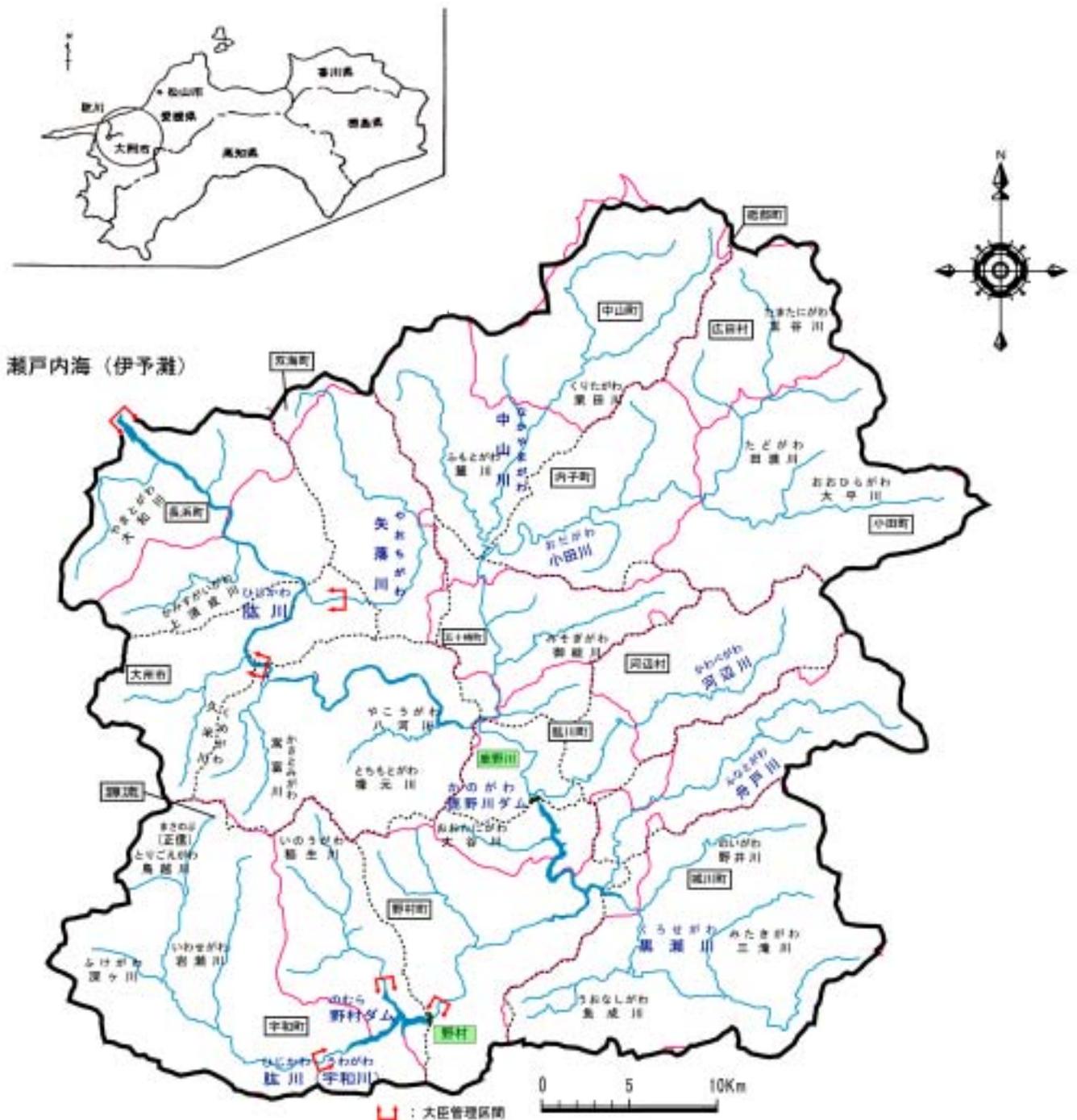


図 9-1 肱川水系直轄管理区間

9 - 2 河川管理施設

河川改修は、昭和 18 年の洪水を契機として昭和 19 年から直轄事業として着手した。その後河川事業を推進しているものの表 9-1 に示すとおり未だ堤防の整備は遅れている。

肱川流域における河川管理施設は表 9-2 に示すとおりである。また、肱川、矢落川における排水樋門・樋管を次頁以降に示した。

河道内工作物として、堰や床止めに加え、肱川特有の「ナゲ」と呼ばれる水制工が大洲市を中心として見られる。

表 9-2 直轄管理区間堤防整備状況

直轄管理 区間延長 (km)	施工令 2 条 7 号 区間延長 (km)	堤防延長(km)				計
		完成堤防	暫定堤防	未施工 区間	堤防 不必要 区間	
24.5	0.0	23.0	3.7	11.1	8.2	46.0
比率(%)		60.8	9.8	29.4		

(大洲工事事務所資料：平成 14 年 3 月)

比率については、堤防不必要区間を除いた値に対する割合

表 9-2 直轄河川管理施設(直轄管理区間)

単位：箇所

	樋門 樋管	水 門	排水機場	浄化施設	その他 陸開	堰 床止	備 考
肱 川	16	-	-	-	5	1	
矢 落 川	5	-	-	-	-	2	
計	21	0	0	0	5	3	

表 9-3 排水樋門・樋管等 施設一覧(直轄管理区間)

	番号	施設名	住所	位置		備考
				左右岸	距離標	
肱 川	1	田淵樋門	喜多郡長浜町田淵地先	右岸	5k4+ 50	
	2	柿早樋門	喜多郡長浜町柿早地先	左岸	5k4+ 40	
	3	加屋樋門	喜多郡長浜町白滝地先	右岸	5k8+180	
	4	除川樋門	喜多郡長浜町豊中地先	左岸	6k4+180	
	5	滝川樋門	喜多郡長浜町白滝地先	右岸	6k8+ 10	
	6	清永川樋門	大洲市八多喜町地先	右岸	7k8+ 50	
	7	出石川樋門	大洲市八多喜町地先	左岸	8k6+ 10	
	8	八多浪排水樋門	大洲市八多喜町地先	左岸	9k4	上須戒支川
	9	和田川樋門	大洲市春賀地先	右岸	10k2+ 40	
	10	峠樋門	大洲市峠地先	左岸	11k4+ 15	
	11	阿寄川排水樋門	大洲市春賀地先	右岸	12k0+150	
	12	山高川排水樋門	大洲市春賀地先	右岸	12k4+130	
	13	オツゲ谷樋門	大洲市五郎地先	右岸	13k4- 34	
	14	清水川樋門	大洲市五郎地先	左岸	14k0+ 18	
	15	土堀排水樋門	大洲市榊形地先	左岸	18k6- 125	
	16	渡場樋門	大洲市渡場地先	右岸	18k8	
	17	坂路陸閘	大洲市五郎地先	右岸	13k1- 49	
	18	土堀陸閘	大洲市榊形地先	左岸	18k6- 100	
	19	本町陸閘	大洲市本町地先	左岸	18k8+ 34	
	20	渡場陸閘	大洲市渡場地先	右岸	18k8+ 87	
	21	志保町陸閘	大洲市志保町地先	左岸	19k0+ 6	
矢 落 川	22	都川樋門	大洲市新谷地先	右岸	0k4+185	
	23	都谷川排水樋門	大洲市新谷地先	左岸	0k6+156	
	24	大河内排水樋門	大洲市新谷地先	右岸	1k8+ 47	
	25	山本排水樋門	大洲市新谷地先	右岸	2k0+143	
	26	大久保川樋門	大洲市新谷地先	右岸	3k2+ 69	



写真 9-1 田淵樋門(肱川 5.4k 右岸)
大洲工事事務所撮影



写真 9-2 都谷川排水樋門(矢落川 0.8k 左岸)
大洲工事事務所撮影

9 - 3 河川情報管理状況

肱川流域における水文観測所（水位及び雨量、流量観測所）の位置を図9 - 3に示す。

現在、水位や雨量観測所からの情報のほかに、I T Vカメラにより河川状況の画像データを光ケーブルによって、防災ステーションや大洲市役所、長浜町役場に画像を提供し、迅速かつ的確な情報提供ができる体制を整えている。



図9-2 肱川流域水文観測所位置図

9 - 4 水防体制

洪水時に河川が氾濫すると、地域の人々の生命・財産をはじめとして、多大な被害を生じることになるため、肱川の洪水調節施設の効果的な管理・運営を行うとともに、一層の洪水予測の精度向上や水防活動などソフト面での充実を行い、洪水被害の軽減を図っていく必要がある。

肱川流域内に雨量観測所・水位観測所・I T Vを設置し、光ファイバーや無線等により迅速に情報収集するとともに、洪水の被害を軽減するため、気象庁と観測データ等の共有を図り共同で洪水予報を実施している。また、同時に河川の水位予測も行い、増水時に大洲第二観測所の水位やI T V画像をもとに、河川巡視や災害の発生防止のための水防活動が迅速かつ的確に行われるように水防警報を発令している。

肱川の下流は無堤地区や部分的に低い堤防を有する地域も多いため、洪水時の巡視では堤防および堤内地の状況等の把握を行っている。特に重要水防箇所においては、適切な状況把握を行って洪水時に迅速な対応を行っている。

水防技術の習得・向上および水防活動に関わる理解・広報を目的として、水防訓練や水防技術講習会を実施している。また、洪水時に周辺住民が早期避難できるよう、ハザードマップの配布、I T V画像情報の防災ステーションや大洲市役所等への提供など、周辺住民への情報提供を行っている。



写真 9-3 河川巡視

9 - 5 地域との連携

肱川では、水面を利用したカヌーやウィンドサーフィン、鵜飼い等の水面利用、釣りや散策、いもたき等の多様な利用がなされており、地域の人々に広く親しまれている。

特に、若宮地区（肱川 15k 右岸）では防災ステーションが建設され、河川管理、保全活動の拠点として機能しているほか、地域の交流の場としても活用されている。



写真 9-4(1) 防災ステーション



写真 9-4(2) 市民による河川清掃

また、肱川では沿川地域住民による河川清掃、工事実施個所の法面緑化のための植樹などが行われ、河川と流域の住民とのつながりや流域連携の促進および支援、河川愛護思想の定着と啓発、住民参加による河川管理を推進している。

9 - 6 河川管理の今後の課題

(1) 治水上の課題

河道の管理

高水敷や低水路、砂州、河口等における樹木や土砂の堆積、深掘れ等を継続的に監視し、治水上の問題が生じている箇所については、必要に応じて伐採、掘削、および水衝部対策等の適切な措置を講じて、洪水の流下の障害とならないよう、また堤防等の安全性が確保されるように管理する。

特に、河口においては、冬期風浪が原因と考えられる漂砂により砂州が発達し、洪水の安全な流下が妨げられており、当面は掘削を実施し流下能力の確保を図りつつ、抜本的な対策について検討していく。

河川管理体制の高度化・効率化

肱川の河口部は両岸とも山脚が迫り、狭隘な地形を成していること、中下流部の河川勾配が緩いこと、中流の大洲盆地に多くの支川が集中していることなど洪水による氾濫がおりやすい地形であることから、洪水時における早期の河川管理体制の確保等が求められている。そのため、光ファイバー等の活用による迅速な情報収集・伝達を行うとともに、河川管理施設の遠隔操作化、CCTV等を用いての重要水防箇所等の空間監視等を行い、河川管理体制の高度化・効率化を図り、迅速な情報提供や活動の支援を行っていく。また、洪水時における河川巡視の強化、IT(情報技術)化の促進により、的確に対応していくものとする。

(2) 河川利用上の課題

肱川では、大洲市有数の観光行事である「鵜飼い」が行われていることから、肱川橋周辺を中心に、鵜飼い舟が多く係留している。これらの係留船は、洪水時には流水の妨げとなったり、流出して河川施設等を損傷させるおそれがある。

このため、従来より洪水増水前に撤去するよう指導を行っているが、今後も関係機関に対し、洪水増水前には撤去するよう指導していく。